

ASEAN 省エネ国際コンファレンスへの参加

【事業概要】

2021年12月10-11日フィリピンのマニラにおいて、オンライン参加による省エネ国際コンファレンスがACE(ASEAN Center for Energy)及びENPAP4.0(フィリピンの省エネ専門家組織)の共催により、エネルギーマネジメントを主要なテーマとして開催された。このコンファレンスにはASEAN各国と日本を含む関係国が参加し、エネルギーマネジメントの各国における状況とエネルギーマネジメントの実践活動、関連する技術の発表が行われた。

ECCJはこのコンファレンスに、資源エネルギー庁の委託事業として実施されているAEEC(Asia Energy Efficiency and Conservation Collaboration Center)の立場からオンラインで参加し、エネルギーマネジメントに関連する最新の省エネ政策とその重要項目であるベンチマーク制度、及びエネルギーマネジメントに関する最近の動向と方針について“Japan's Benchmark System and ISO50001”の表題で説明を行った。

このコンファレンスの全体の発表テーマには、各国の状況説明、エネルギーマネジメント事例報告、企業からの報告が含まれ、企業からの報告としてToyota Bangkok(メカニズムを知る人材の育成など)、ABB(Building management system)、JEITA(連携制御)、Atlas Copco(コンプレッサ)などからエネルギーマネジメントに関する発表が行われている。コンファレンスにおける政策、実践、企業活動などの側面からの発表はフィリピンとASEANにおける省エネの実践に関する情報の共有に役立っている。